

平成 31 年 3 月 29 日

各 位

会 社 名 マクセルホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 勝田善春
(コード番号：6810 東証第一部)
問 合 せ 先 ブ ラ ン ド 戦 略 ・ 広 報 I R 部
(TEL. 03-5715-7061)

会 社 名 株 式 会 社 I N C J
代表者名 代表取締役社長 勝又幹英
問 合 せ 先 企 画 調 整 G r . 広 報
(TEL. 03-5218-7202)

会 社 名 日立オートモティブシステムズ株式会社
代表者名 社長執行役員 & CEO ブリス・コッホ (Brice Koch)
問 合 せ 先 コーポレート・コミュニケーション部
(TEL. 080-8420-1890)

会 社 名 ビークルエナジー ジャパン 株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 岩崎明郎
問 合 せ 先 人 事 総 務 部 人 事 総 務 課
(TEL. 029-276-0954)

**日立ビークルエナジー株式会社への共同出資体制構築の完了
及び日立ビークルエナジー株式会社の商号変更・役員体制に関するお知らせ**

記

マクセルホールディングス株式会社（以下「マクセル」といいます。）、株式会社 INCJ（以下「INCJ」といいます。）、日立オートモティブシステムズ株式会社（以下「日立オートモティブシステムズ」といいます。）の3社（マクセル、INCJ、日立オートモティブシステムズの3社を総称して「当社ら」といいます。）は平成30年12月25日付で発表しました通り、本日付で、日立ビークルエナジー株式会社（以下「日立ビークルエナジー」といいます。）への共同出資体制の構築を完了するとともに、日立ビークルエナジーの商号を「ビークルエナジー ジャパン株式会社」（以下「ビークルエナジー ジャパン」といいます。）に変更しましたのでお知らせします。また、共同出資体制構築の手法につきましては、特別目的会社（以下「SPC」といいます。）を用いた手法に変更しましたので併せてお知らせします。なお、当社らの SPC を通じたビークルエナジー ジャパンに対する出資金額、出資比率、議決権比率は平成30年12月25日に開示した内容から変更しておりません。

当社らは今後、ビークルエナジー ジャパンが日本の電池産業をけん引する車載用リチウムイオン電池メーカーとなることをめざし、企業価値向上のために協力して事業運営を行ってまいります。

1. ビークルエナジー日本の概要

(1) 名称	ビークルエナジー日本株式会社
(2) 所在地	茨城県ひたちなか市稲田 1410 番地
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 社長執行役員 岩崎 明郎 ^{※1}
(4) 取締役	代表取締役 岩崎 明郎 ^{※1}
	取締役会長(非常勤) 千歳 喜弘
	取締役(非常勤) 大沼 邦彦
	取締役(非常勤) 板橋 理
	取締役(非常勤) 田中 友英
	取締役(非常勤) 小川 茂丈
(5) 執行役員	社長執行役員 岩崎 明郎 ^{※1}
	専務執行役員 西原 昭二
	常務執行役員 池内 弘 ^{※2}
	常務執行役員 横井 敬史
	執行役員 西尾 広孝
	執行役員 長谷川 英行
(6) 監査役	監査役 藤村 一路 ^{※3}
	監査役(非常勤) 江口 徹
	監査役(非常勤) 鈴木 啓之
(7) 事業内容	車載用リチウムイオン電池の開発、製造、及び販売

※1 岩崎 明郎は平成 31 年 3 月 28 日をもってマクセルの取締役を退任しました。

※2 池内 弘は平成 31 年 3 月 28 日をもってマクセルの執行役員を退任しました。

※3 藤村 一路は平成 31 年 3 月 28 日をもって日立オートモティブシステムズの取締役を退任しました。

2. 共同出資体制構築手法変更の理由

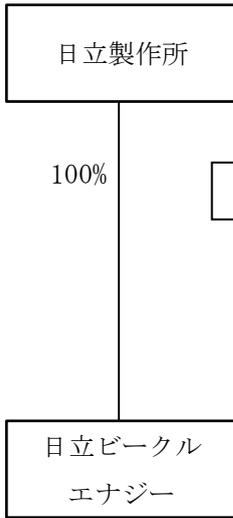
関係当事者間で協議した結果、円滑かつ機動的に取引を実行するため、SPC を通じた共同出資体制を構築することで合意に至りました。

3. 今後の見通し

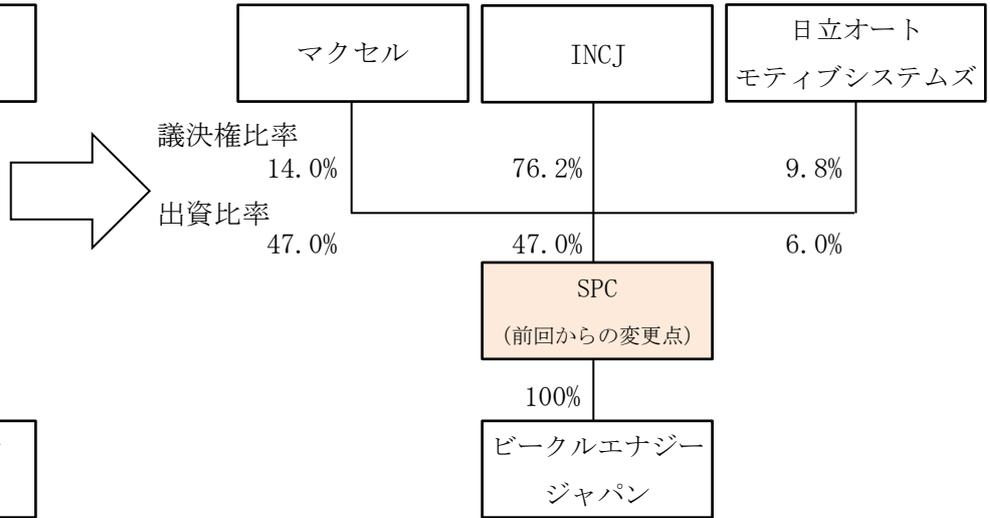
共同出資体制構築手法の変更及び SPC 設立による、平成 31 年 3 月期の業績予想への影響については軽微です。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせします。

(参考) ストラクチャー図/変更後

本取引前



本取引後



以上